

GIS NEWS LETTER

地理情報システム学会ニューズレター 第106号

発行日 ● 2018年6月25日
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

目次

| | | | |
|-----------------|----|--------------|----|
| 会長就任にあたって | 1p | 正味財産増減計算書 | 6p |
| 第27回研究発表大会のお知らせ | 2p | 収支予算書(収支) | 7p |
| 代議員(社員)総会・理事会報告 | 4p | 学会後援行事等のお知らせ | 7p |
| 委員会報告 | 5p | 学会からのお知らせ | 7p |

会長就任にあたって



地理情報システム学会会長

小口 高(東京大学)



このたび地理情報システム学会の会長を拝命いたしました小口です。私は理学系の出身で、自然地理学、とくに地形学の研究を行ってまいりました。地理情報システム学会には文理の様々な分野に関係する方々が参加され、産官学の連携も活発な学会です。私はこのような広い領域を網羅するような視点や知識は持っておりませんが、会長の職務を果たしていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いします。

私とGISとの関わりには偶発的な要素があります。私は当初は野外調査によって地形や地質を研究していました。1980年代の話になりますが、卒業論文では九州の阿蘇地域を調べ、修士論文では私の故郷に近い長野県の松本盆地を調べていました。修士課程の途中までは野外調査のみを行っており、松本盆地では扇状地を調べていました。その中で、扇状地のでき方を知るためには、上流域からの土砂と水の供給を扱う必要があると考え、山間部の調査も始めました。すると、扇状地とは

違って面的な野外調査ができず、道路や小径に沿う場所のみが対象になりました。その結果、重要と予想される場所の一部は調査ができないという問題が生じました。

そこで、空中写真を判読して山の斜面の地形を分類し、その結果を地図に書き込みました。たとえば最近の斜面崩壊で形成された凹型の斜面や、崩壊や流水の影響が微弱な凸型の斜面を分類しました。これらの斜面の分布は複雑でしたので、概要がわかる地図を作りたいと考えました。そこで、地形分類図の上に500mのメッシュをかけ、各メッシュの中にある各地形の比率を求めました。これは地形の細かいユニットの面積を手作業で計測し、結果を集計するという膨大な作業でした。しかし最終的に得られた比率を階級で色分けしたメッシュマップで示すと、地形の空間的な特徴が上手く描写され、地域間の比較もしやすくなりました。

このメッシュマップを見ているうちに、なぜメッシュによって地形の比率に違いがあるのかを知りたくなりました。特に気になったのが地形の起伏や地質の影響です。そこで、これらの情報を地形図と地質図にメッシュをかけて読み取りました。次に、地形比率、起伏、地質という3つのメッシュマップの情報をコンマ区切りのテキスト形式でPCに読み込み、これらを集計する自作のプログラムで地質ごとの起伏と地形比率の関係といったグラフを作成しました。これにより、起伏と地質の影響があることが定量的に示されました。

その後、理学部の助手だった1995年頃にGISを使いたいと考え、基礎から学び始めました。最初はArc/InfoとIDRISI、次にArcViewを学びましたが、以前に自分がGISを使わずにやっていたことはラスターのオーバーレイ解析と同じ内容だったと気づきました。この発見は個人的には強烈で、これからはGISを専門にしたいと考えるようになりました。幸いにも

1998年に東京大学に空間情報科学研究センターができ、そこに異動いたしました。

このような経緯があるため、地理情報システム学会に貢献することは自分にとって必然的であり、誇りのようにも感じられます。一方で、私が会長として優れた貢献を学会にできるかは不明で、歴代の会長の方々が築かれてきた基盤に乗るだけで終わるのではという懸念も持っております。しかし、学会の理事や代議員の先生方や、事務局の浅野さんと楠木さんらの協力が大変心強いことは、これまでも理事や副会長を担当させていただく中で実感しております。このような協力を得つつ、学会の運営に取り組んでいく所存です。よろしくお願い申し上げます。

第27回研究発表大会のお知らせ

第27回地理情報システム学会研究発表大会は、10月19日（金）（企画セッションのみ）・20日（土）・21日（日）に、首都大学東京 南大沢キャンパスにて開催いたします。本年度も、通常の研究発表（講演発表、ポスター発表）に加え、多彩な企画セッション（シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッション、チュートリアルセッション、GIS技術紹介セッション）などのプログラムを予定しております。奮ってお申し込み下さい。

発表申込スケジュール

セッションの企画申込期限

7月15日（日）正午

講演・ポスターの発表申込期間

7月1日（日）～7月15日（日）正午

講演論文集用原稿PDFのアップロード期間

7月1日（日）～8月31日（金）正午

機器展示および業界説明コーナーの申込期限

8月15日（水）まで

参加費

学術大会（講演論文集のCD-ROM代金を含む）

正会員/賛助会員卒の参加者：

事前登録 4,000円（当日受付 6,000円）

学生会員： 事前登録 3,000円（当日受付 4,000円）

非会員（一般および大学生以上）：

事前登録 7,000円（当日受付 8,000円）

高校生以下、70歳以上：

無料（必ず年齢を証明するものをご呈示下さい）

懇親会

会場：首都大学東京 南大沢キャンパス内 国際交流会館

参加費：未定（決定次第、Web等でご案内します）

・事前登録、当日受付とも、領収書を発行いたします。

事前登録

受付期間：9月25日（月）まで

大会Webページのリンクから、事前登録申込フォームに必要な事項をご登録の上、代金をお振り込みください。

※期日までに入金が確認されない場合、事前受付はキャンセルとなります

※昼食の受付はありません。土曜日は学食が利用できます。

また会場校には隣接したショッピングモールがあります。

託児室の設置

大会の開催期間中、キャンパス内に小さいお子様（3ヶ月～小学校低学年位まで）を預けることができるスペースを用意し、依頼したベビーシッター（実績のある会社から派遣）に世話をさせていただきます。

費用は託児料 2,500円/時間（目安）で、この他にオムツ等消耗品諸経費を利用者にご負担いただきます。

ご利用を希望の方は、8月31日（金）までに事務局までご連絡ください。なお、希望者が3名に満たない場合は、託児室は設置いたしませんので、あらかじめご了承ください。

宿泊を予定されている方へ

首都大学東京の最寄り駅は京王相模原線・南大沢駅（八王子市）ですが、同駅周辺にはホテル等はありません。宿泊される場合は、以下の駅周辺が便利です。

- ・京王多摩センター（京王相模原線）、小田急多摩センター（小田急多摩線）、多摩センター（多摩都市モノレール）
- ・橋本（京王相模原線、JR横浜線・相模線）
- ・京王永山（京王相模原線）、小田急永山（小田急多摩線）
- ・調布（京王相模原線・京王本線）

1. 企画セッション

シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッション、チュートリアルセッション、GIS技術紹介セッションなど、特に形式は問いません。1セッション [1時間 40分] を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。

セッション企画は、個人会員・賛助会員の方々からご提案いただけます。特に各分科会の方々は、日常の研究成果を発表するまたとない機会ですので、積極的なご参加をお願いいたします。

■ 企画セッション申込

受付期間：7月15日（日）まで

申込先：井上大会実行委員長宛（rinoue@tohoku.ac.jp）

申込要領：下記の情報をメールでお知らせください。

- ・企画セッション名
- ・種類（シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッションなど）
- ・代表者の氏名、所属、メールアドレス
- ・概要（400字程度）
- ・必要セッション数

- ・ 金曜日開催希望の有無
- ・ 必要機材 (PC など)
- ・ 想定出席者数

セッション企画の発表可否は、7月31日(火)までにメールでご連絡致します。なお、会場設備などにより、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

2. 研究発表

講演発表とポスター発表があります。講演論文集は CD-ROM で発行します。

講演発表：論文提出が必要です。論文は、地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で、原則として未発表のものに限ります。また、独創性・完結性がないものの発表は認めません。

ポスター発表：研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも結構です。自由で活発な情報交換の場としてご活用下さい。論文の提出は必須ではありませんが、提出された原稿は講演論文集に収録されます。

講演発表・ポスター発表共に、商業宣伝的な内容は認めません。機器展示や GIS 製品・利用例紹介セッションにお申し込み下さい。

なお、2015 年度より、講演発表・ポスター発表の発表者(第一著者)に、測量系 CPD 学習プログラムのポイントが付与されます。大会で発表した場合、(1)「GIS 上級技術者」への申請や、(2)「測量系 CPD 学習プログラム」への登録が可能です。希望者は大会当日、受付までお申し出下さい。

■ 応募資格

- (1) どなたでも発表できます。ただし、発表者または共同研究者(連名者)のうち、少なくとも 1 名は学会の個人会員(正会員または学生会員)でなければなりません。また、賛助会員は、1 口につき個人会員 1 名分の発表資格を有するものとみなします。
- (2) 発表者となるのは、賛助会員枠を含めても 1 名につき 1 題に限ります。ただし、以下の場合には、発表の重複が認められます。
 - ・ 複数の発表について共同研究者(連名者)となること。
 - ・ 同一題目で講演発表とポスター発表を行うこと。
 - ・ 通常セッションと特別セッションの両方で発表を行うこと。
- (3) 大会発表会場で指定日時に発表できること。発表日時の指定は受け付けません。また、会場の都合により発表総数を制限する場合があります。
- (4) 会員は、2018 年度までの年会費完納者であること。

■ 発表申し込み手続き

1. アブストラクトの提出

受付期間：7月1日(日)～15日(日) 正午(必着)

EasyChair (<https://easychair.org/conferences/?conf=gisa2018>)

で、GISA2018 を選んで申込を行って下さい。

※ EasyChair の利用方法は、大会 Web ページの説明書をご覧ください。

※ 記入された氏名・論題が、大会 Web ページのプログラムと CD-ROM に掲載されます。受付期間終了後の修正は一切受け付けませんので、予めご了承下さい。

発表の可否は、7月31日(火)までに学会 Web ページに掲載されるプログラム(予定)にてご確認ください。個別のご連絡は行いませんのでご注意下さい。

2. 講演論文集用原稿の提出

受付期間：7月1日(日)～8月31日(金) 正午(必着)

【EasyChair にアップロード】

発表論文原稿 (PDF)

作成要領は、大会 Web ページ掲載のテンプレートファイルをご活用下さい。

- ・ 受付期間外に到着した原稿は一切受け付けられません。発表を取り消させていただきますので、予めご了承下さい。
- ・ 使用言語は日本語または英語とします。
- ・ 原稿の仕上がりサイズは A4 版 4 枚とします。
- ・ 発表者に連絡がつきにくい可能性がある場合は、申込の際に確実な連絡先も明記して下さい。原稿の不備等で連絡を差し上げる場合があります。
- ・ 発表原稿の編集・出版の権利は、地理情報システム学会に帰属します。

3. 第 14 回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベル向上を図るため、本年度も「大会優秀発表賞」を設けます。以下の条件を満たす方が対象となります。

- ・ 本学会の学生会員であること。(2018 年 7 月 15 日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。ただし、2018 年度までの年会費完納者)
- ・ 修士号未修得であること。
- ・ 講演の発表者であること。

研究(論文)内容や発表技術の優秀者からセッション司会者が受賞候補者を推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター 108 号に氏名と所属を公表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol. 26, No. 2 に発表要旨を掲載(モノクロ印刷のみ)します。受賞者は 11 月 15 日(木)までに A4 用紙 1 枚の原稿提出にご協力下さい。

4. 第7回ポスターセッション賞

ポスターセッションでの議論の活性化を図るため、本年度も「ポスターセッション賞」を設けます。ポスターセッション参加者全員が審査の対象です。審査方法は、郵送（事前登録）・受付（当日受付）でお渡しする審査用紙をご覧ください。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター108号に氏名と所属を公表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol. 25, No. 2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月15日（木）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

5. 機器展示・業界説明コーナー

機器展示: PC, または, android/iOS タブレット上で稼動するGISのデモソフトの展示。

業界説明コーナー: 学生に会社の業務内容を説明し、仕事内容を理解してもらうための意見交換の場としてご利用ください。

■ 展示申込

受付期間: 7月1日（日）～8月15日（水）

※8月1日（水）までの受付分は、展示概要をGISA ニュースレター107号に掲載します。

（以降の受付も、会場配布パンフレット、及び、大会Webページには掲載します）

応募資格: 学会賛助会員に限ります。出展費用は無料です。

応募要領: 以下を明記の上、E-mail にて事務局宛にお申し込み下さい。

①会社名 ②担当者名 ③連絡先電話番号, E-mail ④展示ソフト名称（業界説明コーナー出展の場合は不要）

⑤展示概要（200字程度。ニュースレターや会場配布のパンフレット及び大会Webページに掲載します）

⑥必要電源の個数

出展可否の連絡: 9月21日（金）までに展示要項と共にE-mail で通知します。

※会場の都合により、各日の展示件数、及び、1社当たりの機器構成（電気容量）について、事務局が調整することがあります。

※業界説明コーナーは、パンフレット設置等のスペースがあれば、大会直前のお申込みでも受け付けます。事務局までご相談ください。

代議員(社員)総会・理事会報告

■ 一般社団法人地理情報システム学会

第58回理事会議事録 [理事 大佛 俊泰]

開催日時: 平成30年5月27日14時00分～15時10分

開催場所: 東京大学工学部14号館141教室

理事10名全員が出席し、定足数を満たして成立した。

審議事項:

第1号議案 牧野北陸支部長（オブザーバー出席）から資料に基づき説明があり、活動形態について議論がなされ、引

き続き検討することとした。

第2号議案 大佛理事から2017年度事業報告について資料に基づき説明があり、議論、確認して承認した。

第3号議案 山本理事から2017年度決算と会計監査について資料に基づき説明があり、議論、確認して承認した。

第4号議案 大佛理事から2018年度事業計画（案）について資料に基づき説明があり、議論、確認して承認した。

第5号議案 山本理事から2018年度予算（案）について資料に基づき説明があり、議論、確認して承認した。

報告事項:

報告1 職務執行状況について

- 山本理事から財務状況について資料に基づき説明があった。
- 貞広理事から教育活動状況について資料に基づき説明があった。
- 大場理事から広報活動状況についてに基づき説明があった。
- 奥貫理事から学会誌編集について資料に基づき説明があった。
- 大伴理事からGIS資格認定協会について資料に基づき説明があった。
- 小荒井理事からG空間EXPOについて説明があった。
- 厳理事から分科会の解散について資料に基づき説明があった。

報告2 玉川会長から今年度大会（於首都大学東京）について資料に基づき説明があった。

報告3 入退会会員について資料をもとに確認を行った。

■ 一般社団法人地理情報システム学会

第12回社員総会議事録 [理事 大佛 俊泰]

開催日時: 平成30年5月27日15時30分～15時50分

開催場所: 東京大学工学部14号館141教室

本年度の社員総数40名のうち29名が出席し、9名が議決権行使書面を提出したことから、本総会は定足数を満たして成立した。

第1号議案 2017年度事業報告について

大佛理事から2017年度に実施した事業について配付資料に基づき報告があった。討議の後、満場一致で承認された。

第2号議案 2017年度決算と会計監査について

山本理事から2017年度決算と会計監査について配付資料に基づき報告があった。引き続き浅見監事から会計監査内容について説明がなされた。討議の後、満場一致で承認された。

第3号議案 理事及び監事の任期満了による退任について

議長が理事及び監事の任期満了による退任について配付資料に基づき説明した。討議の後、満場一致で承認された。

第4号議案 理事及び監事の選任について

議長が1月に実施した選挙に基づき提案された理事及

び監事の選任について配付資料に基づき説明した。討議の後、満場一致で提案は承認された。なお、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第 59 回理事会議事録 [理事 大佛 俊泰]

開催日時：平成 30 年 5 月 27 日 15 時 50 分～16 時 05 分
開催場所：東京大学工学部 14 号館 141 教室

理事 10 名全員が出席し、定足数を満たして成立した。

審議事項：

第 1 号議案 会長及び副会長の選任について

以下の者が会長および副会長に推挙され満場一致で可決した。なお、被選任者はその選任を承諾した。

会長：小口 高 理事

副会長：大佛 俊泰 理事

第 2 号議案 事務局長の選任について

以下の者が事務局長に推挙され満場一致で可決した。

なお、被選任者はその選任を承諾した。

事務局長：山本 佳世子 理事

また、討議の後、次のように役割分担を決定した。なお、被選任担当理事は全員その就任を承諾した。

大会・学会賞担当：大佛 俊泰

財務・広報担当：大場 亨

編集担当：奥貫 圭一

企画担当：小荒井 衛

渉外担当：山田 育穂

支部・分科会・総務担当：巖 網林

資格担当：大伴 真吾

教育担当：貞広 幸雄

監事：矢野 桂司

玉川 英則

第 3 号議案 2018 年度事業計画について

大佛理事が配付資料に基づき 2018 年度事業計画（案）について説明し、討議の後、満場一致で承認した。

第 4 号議案 2018 年度予算案について

山本理事が配付資料に基づき 2018 年度予算書（収支）について説明し、討議の後、満場一致で承認した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第 13 回総会議事録 [理事 大佛俊泰]

開催日時：平成 30 年 5 月 27 日 16 時 10 分～16 時 30 分
開催場所：東京大学工学部 14 号館 141 教室

本年度の社員総数 40 名のうち 29 名が出席し、9 名が議決権行使書面を提出したことから、本総会は定足数を満たして成立した。

報告事項：

報告 1 2018 年度事業計画について

配付資料に基づき報告があり、資料の一部修正を含め、満場一致で承認された。

報告 2 2018 年度予算について

配付資料に基づき報告があり、資料の一部修正を含め、満場一致で承認された。

委員会報告

■ GIS 資格認定協会 [大伴 真吾]

5 月 27 日に平成 30 年度 GIS 資格認定協会（GISCA）第 1 回全体会議を開催し、昨年度の総括、今年度の計画等について報告、協議を行い、次の体制にて活動を行うことになりました。

代表 小口 高（東京大学、地理情報システム学会会長）

幹事長 大伴真吾（朝日航洋）

幹事 広報担当 浅野和仁（富田林市）

幹事 会計・渉外担当 佐藤俊明（パスコ）

幹事 実力向上担当 和田陽一（国際航業）

幹事 事務局長 竹本 孝（国際航業）

幹事 吉川真（大阪工大）、正木千陽（ESRI ジャパン）

資格認定委員長 田中一成（大阪工大）

資格認定委員 山下潤（九州大）、松山洋（首都大学東京）、久保幸夫（創価大）、大場亨（市川市）、池田晃三（アジア航測）、島村秀樹（パスコ）、中島円（国際航業）、阿部和正（秋元技術コンサルティング）、青木和人（あおき地理情報システム研究所）

審査委員 村尾吉章（日本アイ・ビー・エム）、一氏昭吉（GIS 官民協議会）、酒井拓也（朝日航洋）、濱本両太（ESRI ジャパン）

事務局 渡辺美紀（国際航業）、小澤希（朝日航洋）

なお、GISCA の創設時より多大なるご尽力をいただきました太田守重氏、平下治氏のご退任されました。ここに改めて心より感謝申し上げます。

5 月 7 日時点の認定状況は次の通りです。

GIS 名誉上級技術者数 23 名

GIS 上級技術者数 211 名

GIS 教育認定プログラム件数 24 件

■ 教育委員会報告

国土地理院との共催で、2018 年 3 月 5 日（月）につくば市の国土地理院においてスプリングスクールを開催しました。受講者は社会人 2 名、大学院生 3 名、学部生 10 名の 15 名です。

テーマに「東京オリンピック・パラリンピック 2020 大会の運営における GIS 関連技術の運用」を掲げ、2 件の講義実習

・「地理院地図を活用したウェブ地図による情報発信」（石塚麻奈氏/国土地理院）

・「1964 年東京オリンピック・パラリンピックから 2020 年に向けて」（戸田有紀氏/ESRI ジャパン(株)）

および班別ディスカッションを行い、受講者には最後に玉川英則会長より修了証が手渡されました。

正味財産増減計算書

2017年 4月 1日から2018年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|----------------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 特定資産運用利息 | 1,050 | 2,631 | -1,581 |
| 特定資産受取金 | 1,050 | 2,631 | -1,581 |
| 受取金 | 0 | 400,000 | -400,000 |
| 受取金 | 0 | 400,000 | -400,000 |
| 受取金 | 13,282,000 | 13,649,000 | -367,000 |
| 受取金 | 10,189,000 | 10,434,000 | -245,000 |
| 受取金 | 403,000 | 375,000 | 28,000 |
| 受取金 | 2,690,000 | 2,840,000 | -150,000 |
| 受取金 | 24,000 | 31,000 | -7,000 |
| 受取金 | 1,399,000 | 1,645,000 | -246,000 |
| 受取金 | 464,000 | 582,000 | -118,000 |
| 受取金 | 95,000 | 89,000 | 6,000 |
| 受取金 | 294,000 | 532,000 | -238,000 |
| 受取金 | 546,000 | 442,000 | 104,000 |
| 受取金 | 1,808,952 | 2,013,662 | -204,710 |
| 受取金 | 828,604 | 897,048 | -68,444 |
| 受取金 | 33,680 | 65,220 | -31,540 |
| 受取金 | 476,280 | 442,628 | 33,652 |
| 受取金 | 318,644 | 389,200 | -70,556 |
| 受取金 | 607,000 | 783,000 | -176,000 |
| 受取金 | 607,000 | 783,000 | -176,000 |
| 受取金 | 60,948 | 33,614 | 27,334 |
| 受取金 | 312,400 | 300,000 | 12,400 |
| 受取金 | 620,000 | 290,000 | 330,000 |
| 受取金 | 530,000 | 230,000 | 300,000 |
| 受取金 | 90,000 | 60,000 | 30,000 |
| 受取金 | 76,551 | 40,930 | 35,621 |
| 受取金 | 76,551 | 40,930 | 35,621 |
| 受取金 | 76,551 | 40,930 | 35,621 |
| 受取金 | 30,000 | 30,000 | 0 |
| 受取金 | 30,000 | 30,000 | 0 |
| 受取金 | 75,936 | 120,915 | -44,979 |
| 受取金 | 59 | 58 | 1 |
| 受取金 | 75,877 | 120,857 | -44,980 |
| 経常収益計 | 17,317,489 | 18,223,138 | -905,649 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 大会時開催費 | 1,302,930 | 1,044,246 | 258,684 |
| 大会会場賃料 | 353,500 | 345,750 | 7,750 |
| 大会会場借入金 | 45,000 | 59,880 | -14,880 |
| 大会会場通運費 | 0 | 29,565 | -29,565 |
| 大会会場消耗品費 | 277,135 | 0 | 277,135 |
| 大会会場支払手数料 | 43,801 | 0 | 43,801 |
| 大会会場印刷費 | 150,718 | 124,872 | 25,846 |
| 大会会場制作費 | 6,696 | 4,179 | 2,517 |
| 大会会場制作費 | 426,080 | 480,000 | -53,920 |
| 大会会場印刷費 | 2,295,600 | 2,355,016 | -59,416 |
| 大会会場印刷費 | 546,480 | 460,156 | 86,324 |
| 大会会場印刷費 | 1,579,560 | 1,725,300 | -145,740 |
| 大会会場印刷費 | 27,540 | 51,840 | -24,300 |
| 大会会場印刷費 | 142,560 | 380,160 | -237,600 |
| 大会会場印刷費 | 1,409,460 | 1,293,300 | 116,160 |
| 大会会場印刷費 | 169,560 | 169,560 | 0 |
| 大会会場印刷費 | 169,560 | 169,560 | 0 |
| 大会会場印刷費 | 201,946 | 227,892 | -25,946 |
| 大会会場印刷費 | 75,224 | 0 | 75,224 |
| 大会会場印刷費 | 74,360 | 0 | 74,360 |
| 大会会場印刷費 | 864 | 0 | 864 |
| 大会会場印刷費 | 7,716 | 68,780 | -61,064 |
| 大会会場印刷費 | 7,500 | 68,780 | -61,280 |
| 大会会場印刷費 | 216 | 0 | 216 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 38,632 | -38,632 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 38,200 | -38,200 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 432 | -432 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 41,772 | -41,772 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 41,340 | -41,340 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 432 | -432 |
| 大会会場印刷費 | 96,732 | 67,571 | 29,161 |
| 大会会場印刷費 | 18,000 | 0 | 18,000 |
| 大会会場印刷費 | 74,688 | 66,491 | 8,197 |
| 大会会場印刷費 | 3,072 | 0 | 3,072 |
| 大会会場印刷費 | 972 | 1,080 | -108 |
| 大会会場印刷費 | 22,274 | 11,137 | 11,137 |
| 大会会場印刷費 | 22,274 | 11,137 | 11,137 |
| 大会会場印刷費 | 881,108 | 567,262 | 313,846 |
| 大会会場印刷費 | 4,300 | 154,908 | -150,608 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 86,400 | -86,400 |
| 大会会場印刷費 | 4,300 | 46,177 | -41,877 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 20,819 | -20,819 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 1,512 | -1,512 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 39,080 | -39,080 |
| 大会会場印刷費 | 0 | 39,080 | -39,080 |
| 大会会場印刷費 | 41,680 | 42,243 | -563 |
| 大会会場印刷費 | 41,680 | 42,243 | -563 |
| 大会会場印刷費 | 211,788 | 21,708 | 190,080 |
| 大会会場印刷費 | 211,680 | 21,600 | 190,080 |
| 大会会場印刷費 | 108 | 0 | 108 |
| 大会会場印刷費 | 135,217 | 58,078 | 77,139 |
| 大会会場印刷費 | 66,830 | 17,214 | 49,616 |
| 大会会場印刷費 | 10,800 | 0 | 10,800 |
| 大会会場印刷費 | 45,370 | 40,000 | 5,370 |
| 大会会場印刷費 | 11,137 | 0 | 11,137 |
| 大会会場印刷費 | 1,080 | 864 | 216 |
| 資格認定協会 G I S | 488,123 | 251,245 | 236,878 |
| 資格認定協会 G I S | 241,580 | 1,030 | 240,550 |
| 資格認定協会 G I S | 120,100 | 143,520 | -23,420 |
| 資格認定協会 G I S | 16,480 | 16,078 | 402 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 21,600 | -21,600 |
| 資格認定協会 G I S | 33,967 | 64,589 | -30,622 |
| 資格認定協会 G I S | 72,000 | 0 | 72,000 |
| 資格認定協会 G I S | 3,996 | 4,428 | -432 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 1,024,420 | -1,024,420 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 200,334 | -200,334 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 42,274 | -42,274 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 972 | -972 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 780,840 | -780,840 |
| 資格認定協会 G I S | 13,076 | 30,000 | -16,924 |
| 資格認定協会 G I S | 2,860 | 30,000 | -27,140 |
| 資格認定協会 G I S | 10,000 | 0 | 10,000 |
| 資格認定協会 G I S | 216 | 0 | 216 |
| 資格認定協会 G I S | 30,000 | 30,000 | 0 |
| 資格認定協会 G I S | 60,000 | 0 | 60,000 |
| 資格認定協会 G I S | 60,000 | 0 | 60,000 |
| 資格認定協会 G I S | 11,389,822 | 11,655,710 | -265,888 |
| 資格認定協会 G I S | 4,832,700 | 5,145,271 | -312,571 |
| 資格認定協会 G I S | 3,289,483 | 3,282,781 | 6,702 |
| 資格認定協会 G I S | 1,198,395 | 1,181,565 | 16,830 |
| 資格認定協会 G I S | 344,822 | 680,925 | -336,103 |
| 資格認定協会 G I S | 1,181,750 | 1,086,000 | 95,750 |
| 資格認定協会 G I S | 682,106 | 677,640 | 4,466 |
| 資格認定協会 G I S | 385,817 | 364,131 | 21,686 |
| 資格認定協会 G I S | 1,108,247 | 1,063,956 | 44,291 |
| 資格認定協会 G I S | 432,567 | 359,143 | 73,424 |
| 資格認定協会 G I S | 675,680 | 704,813 | -29,133 |
| 資格認定協会 G I S | 129,600 | 64,800 | 64,800 |
| 資格認定協会 G I S | 129,600 | 64,800 | 64,800 |
| 資格認定協会 G I S | 386,491 | 368,405 | 18,086 |
| 資格認定協会 G I S | 48,600 | 48,600 | 0 |
| 資格認定協会 G I S | 1,682,684 | 1,687,455 | -4,771 |
| 資格認定協会 G I S | 70,167 | 80,408 | -10,241 |
| 資格認定協会 G I S | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 資格認定協会 G I S | 22,860 | 20,244 | 2,616 |
| 資格認定協会 G I S | 388,800 | 388,800 | 0 |
| 資格認定協会 G I S | 460,000 | 650,000 | -190,000 |
| 資格認定協会 G I S | 452,544 | 395,676 | 56,868 |
| 資格認定協会 G I S | 40,000 | 51,280 | -11,280 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 51,280 | -51,280 |
| 資格認定協会 G I S | 40,000 | 0 | 40,000 |
| 資格認定協会 G I S | 7,060 | 7,439 | -379 |
| 資格認定協会 G I S | 6,000 | 6,000 | 0 |
| 資格認定協会 G I S | 844 | 1,439 | -595 |
| 資格認定協会 G I S | 216 | 0 | 216 |
| 資格認定協会 G I S | 135,826 | 148,255 | -12,429 |
| 資格認定協会 G I S | 35,000 | 52,500 | -17,500 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 76,626 | -76,626 |
| 資格認定協会 G I S | 1,260 | 10,760 | -9,500 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 2,568 | -2,568 |
| 資格認定協会 G I S | 98,486 | 4,937 | 93,549 |
| 資格認定協会 G I S | 1,080 | 864 | 216 |
| 資格認定協会 G I S | 79,417 | 40,917 | 38,500 |
| 資格認定協会 G I S | 21,500 | 19,400 | 2,100 |
| 資格認定協会 G I S | 294 | 1,304 | -1,010 |
| 資格認定協会 G I S | 57,623 | 19,889 | 37,734 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 324 | -324 |
| 資格認定協会 G I S | 90,241 | 47,885 | 42,356 |
| 資格認定協会 G I S | 26,350 | 0 | 26,350 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 33,110 | -33,110 |
| 資格認定協会 G I S | 23,400 | 3,422 | 19,978 |
| 資格認定協会 G I S | 38,979 | 11,137 | 27,842 |
| 資格認定協会 G I S | 1,512 | 216 | 1,296 |
| 資格認定協会 G I S | 100,000 | 99,900 | 100 |
| 資格認定協会 G I S | 0 | 99,900 | -99,900 |
| 資格認定協会 G I S | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 経常費用計 | 16,627,026 | 17,330,222 | -703,196 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 690,463 | 892,916 | -202,453 |
| 損益評価等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 690,463 | 892,916 | -202,453 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 690,463 | 892,916 | -202,453 |
| 一般正味財産期首残高 | 69,857,244 | 68,964,328 | 892,916 |
| 一般正味財産期末残高 | 70,547,707 | 69,857,244 | 690,463 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 70,547,707 | 69,857,244 | 690,463 |

※冲销支度は前年度、運営費の使用実績がなかったため正味財産増減計算書に記載はない。

収支予算書(収支)

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

| 般会計 | | (単位:円) | | |
|------------------------------|--|------------|------------|-----------|
| 科 目 | | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 会 費 収 入 | | 13,115,000 | 13,315,000 | -200,000 |
| 正学 員 員 | | 10,260,000 | 10,260,000 | 0 |
| 大 会 参 加 費 収 入 | | 315,000 | 315,000 | 0 |
| 正学 生 会 員 | | 2,540,000 | 2,740,000 | -200,000 |
| 刊 行 物 参 加 費 収 入 | | 1,300,000 | 1,450,000 | -150,000 |
| 機関誌(GIS) 集 理 論 と 応 用 収 入 | | 450,000 | 450,000 | 0 |
| 大会 講 演 論 文 集 (大会誌) 収 入 | | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 資格・教育 認 定 事 業 収 入 | | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 資 格 申 認 登 録 料 収 入 | | 450,000 | 600,000 | -150,000 |
| 更 定 新 事 業 収 入 | | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 |
| 支 部 支 収 入 | | 800,000 | 800,000 | 0 |
| 関 西 支 収 入 | | 700,000 | 700,000 | 0 |
| 経 理 支 収 入 | | 550,000 | 690,000 | -140,000 |
| そ の 他 収 入 | | 150,000 | 270,000 | -120,000 |
| 事業活動収入計 | | 100,000 | 180,000 | -80,000 |
| | | 300,000 | 240,000 | 60,000 |
| | | 96,000 | 196,000 | -100,000 |
| | | 96,000 | 96,000 | 0 |
| | | 0 | 100,000 | -100,000 |
| | | 80,000 | 80,000 | 0 |
| | | 80,000 | 80,000 | 0 |
| | | 16,641,000 | 17,231,000 | -590,000 |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| 大 会 開 催 費 金 支 出 | | 1,300,000 | 1,490,000 | -190,000 |
| 臨 時 雇 賃 料 支 出 | | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 会 場 借 賃 料 支 出 | | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 会 場 運 送 費 支 出 | | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 通 信 費 支 出 | | 50,000 | 330,000 | -280,000 |
| 消 耗 品 費 支 出 | | 50,000 | 10,000 | 40,000 |
| 刊 行 物 制 作 費 支 出 | | 350,000 | 250,000 | 100,000 |
| 機 関 誌 印 刷 費 支 出 | | 450,000 | 500,000 | -50,000 |
| 大会 講 演 論 文 集 (大会誌) 印 刷 費 支 出 | | 2,530,000 | 2,530,000 | 0 |
| 分 科 会 支 出 | | 500,000 | 450,000 | 50,000 |
| 自 己 治 体 ス 支 出 | | 1,850,000 | 1,900,000 | -50,000 |
| 防 災 救 済 支 出 | | 180,000 | 180,000 | 0 |
| F 0 S 4 G 分 科 会 支 出 | | 574,000 | 720,000 | -146,000 |
| 土 地 利 用 G 分 科 会 支 出 | | 80,000 | 262,000 | -182,000 |
| 若 手 研 究 生 支 出 | | 30,000 | 0 | 30,000 |
| セ ン ー ト 研 究 生 支 出 | | 150,000 | 110,000 | 40,000 |
| 委 員 会 支 出 | | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 企 業 委 員 会 支 出 | | 56,000 | 40,000 | -16,000 |
| 学 会 委 員 会 支 出 | | 90,000 | 100,000 | -10,000 |
| 編 集 委 員 会 支 出 | | 28,000 | 28,000 | 0 |
| 教 育 委 員 会 支 出 | | 60,000 | 60,000 | 0 |
| 資格 認 定 協 会 (GISCA) 支 出 | | 2,210,000 | 1,980,000 | 230,000 |
| 特 定 寄 付 支 出 | | 140,000 | 170,000 | -30,000 |
| 支 援 費 支 出 | | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 若 手 研 究 生 支 出 | | 400,000 | 300,000 | 100,000 |
| 本 部 事 務 局 運 営 費 支 出 | | 300,000 | 150,000 | 150,000 |
| 人 事 費 支 出 | | 1,320,000 | 1,310,000 | 10,000 |
| 臨 時 雇 賃 料 支 出 | | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 法 定 費 支 出 | | 90,000 | 90,000 | 0 |
| 旅 行 費 支 出 | | 90,000 | 90,000 | 0 |
| 通 信 費 支 出 | | 11,840,000 | 11,780,000 | 60,000 |
| 消 耗 品 費 支 出 | | 4,740,000 | 4,680,000 | 60,000 |
| 修 繕 費 支 出 | | 1,650,000 | 1,650,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 750,000 | 750,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 1,250,000 | 1,250,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 600,000 | 600,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 1,700,000 | 1,700,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 410,000 | 410,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 716,000 | 845,000 | -129,000 |
| 賃 借 料 支 出 | | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 50,000 | 52,000 | -2,000 |
| 賃 借 料 支 出 | | 216,000 | 216,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 賃 借 料 支 出 | | 100,000 | 227,000 | -127,000 |
| 事業活動支出計 | | 19,310,000 | 19,485,000 | -175,000 |
| 事業活動収支差額 | | -2,669,000 | -2,254,000 | -415,000 |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 投資活動収入計 | | 0 | 0 | 0 |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| 投資活動支出計 | | 0 | 0 | 0 |
| 投資活動収支差額 | | 0 | 0 | 0 |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | | |
| 財務活動収入計 | | 0 | 0 | 0 |
| 2. 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動支出計 | | 0 | 0 | 0 |
| 財務活動収支差額 | | 0 | 0 | 0 |
| 当期収支差額 | | -2,669,000 | -2,254,000 | -415,000 |
| 前期繰越収支差額 ① | | 52,227,087 | 51,062,245 | 1,164,842 |
| 次期繰越収支差額 ② | | 49,558,087 | 48,808,245 | 749,842 |

① 2017年度の収支計算書の次期繰越収支差額
② ①+2017年度の実績の当期収支差額

学会後援行事等のお知らせ

■ 空間情報シンポジウム 2018 (共催)

主催：株式会社インフォマティクス

日程：2018年 7月 4日 (水) 東京

(東京コンファレンスセンター・品川)

2018年 7月 12日 (木) 大阪 (毎日新聞オーバルホール)

2018年 7月 19日 (木) 名古屋

(JPタワー名古屋ホール&カンファレンス)

詳しくは… <http://www.informatix.co.jp/sympo18/>

※建設系 CPD ポイント, 測量 CPD ポイントを取得できます。

■ GIS day in 伊勢 2018 (後援)

主催：皇學館大学文学部コミュニケーション学科

会期：2018年 8月 17日 (金) ~ 18日 (土)

会場：皇學館大学

詳しくは…

<https://kogakkangis.maps.arcgis.com/home/index.html>

■ International Conference on Spatial Analysis and Modeling (協力)

会期：2018年 9月 8日 (土) ~ 9日 (日)

会場：東京大学

詳しくは… <http://sam2018.wixsite.com/home>

■ IEEE SMC 2018 (協賛)

会期：2018年 10月 7日 (日) ~ 10日 (水)

会場：シーガイア国際会議場 (宮崎県)

詳しくは… <http://www.smc2018.org/>

学会からのお知らせ

■ 2018 年度 初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰 (既報)

2018 年度も表記の表彰事業を実施します。国土交通大臣賞 (総合的な観点), 地理情報システム学会賞 (GIS の効果的な活用の観点), 毎日新聞社賞 (教育上の効果の観点), 日本地図センター賞 (地図の効果的な利用の観点) の各部門があります。

募集要項および過去の授賞については, 以下の URL でご確認ください。昨年度から, 受賞者の許可を得られたものについては, 資料を公開しております。

<http://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間は 2018 年 7 月 1 日 (日) ~ 8 月 31 日 (金) 17:00 必着です。

■ メールニュース受信についてお願い

BCC または配信先が多数のメールを受信できない設定の企業等団体の方で, 学会メールニュースをお読みにになりたい方は, 個人のメールアドレスを事務局までお知らせください。また, アドレスが変更になった場合は, 変更届の提出をお願いいたします。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

| | |
|--|--|
| 2018 年 5 月末現在の個人会員 1072 名、 賛助会員 54 社 | |
| 賛助会員 アクリーグ(株)、朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、いであ(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NTT タウンページ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東甲信越東海GIS 技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州GIS 技術研究会、近畿北陸G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)ジオプラン、(株)昭文社、(株)ジンテック、(株)ゼンリン、(株)ゼンリンジオインテリジェンス、(株)谷澤総合鑑定所、玉野総合コンサルタント(株)、中四国GIS 技術研究会、デジタル北海道研究会、東北GIS 技術研究会、(株)ドーン、長野県GIS 協会、にいがたGIS 協議会、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、阪神高速技研(株)、東日本総合計画(株)、北海道GIS 技術研究会、(株)マップクエスト、(株)松本コンサルタント、三菱電機(株)、三菱UFJ リサーチ& コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター 自治体会員 :経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、長野県環境保全研究所、福岡県直方市 | |
| 学会分科会連絡先一覧 <div> <div> <p>●自治体：浅野和仁（大阪府富田林市） 事務局：青木和人（あおきgis研究所 Tel 050-5850-3290） E-mail：kazu013057@gmail.com</p> <p>●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所 Tel 03-5379-5601） E-mail：kohsaka@npo-giti.com</p> <p>●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333） E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp</p> <p>●時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001） E-mail：yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp</p> </div> <div> <p>●地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京 Tel 042-677-2601） E-mail：wakaba@tmu.ac.jp</p> <p>●セキュリティSIG：内布茂充（行政書士 内布事務所 Tel 090-2284-4125） E-mail：spcn87q9@royal.ocn.ne.jp</p> <p>●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学） 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株) TEL049-244-4032） E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp</p> <p>●若手分科会：相尚寿（東京大学 Tel 04-7136-4302） E-mail：hisai@csis.u-tokyo.ac.jp</p> <p>●IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学 Tel 0466-49-3453） E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp</p> </div> </div> | |
| 地方支部の連絡先一覧 <div> <div> <p><北海道支部> 支部長：小樽商科大学 深田秀実 Tel：0134-27-5399, E-mail：fukada@res.otaru-uc.ac.jp</p> <p><東北支部> 支部長：東北大学 井上亮 Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp</p> <p><北陸支部> 支部長：新潟大学 牧野秀夫 Tel：025-262-6749, E-mail：makino@ie.niigata-u.ac.jp</p> <p><中部支部> 支部長：中部大学 福井弘道 連絡先：杉田暁（中部大学） Tel：0568-51-9894（内線 5714）, E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp</p> <p><関西支部> 支部長：大阪工業大学 吉川眞 連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp</p> </div> <div> <p><中国支部> 支部長：広島修道大学 川瀬正樹 Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp</p> <p><四国支部> 支部長：愛媛大学 Netra Prakash Bhandary Tel：089-927-8566, E-mail：netra@ehime-u.ac.jp</p> <p><九州支部> 支部長：九州大学 三谷泰浩 Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp</p> <p><沖縄支部> 支部長：琉球大学 町田宗博 E-mail：machida@ll.u-ryukyu.ac.jp</p> <p>連絡先：澤岬 直彦（特定非営利活動法人沖縄地理情報システム協議会） Tel：098-863-7528, E-mail：takushi@okicom.co.jp</p> </div> </div> | |
| ■ 編集後記 ■ 小口先生が新会長に就任され、今年度も本格的にスタートいたしました。 ニューズレターの編集も、もう何期担当させていただいているのでしょうか。 頂いた原稿をあつちからこっちへコピーして、フォームを整えれば大まかな部分は出来てしまうので、頁を偶数にするために原稿を切ったり貼ったり、改行位置を調整してフォントを変えて校正を始めます。 校正は今も昔もそう変わりませんね。 中学生の頃、新聞部でガリ版に原稿を書いていた時代を思い出すのですが、つつい文章を読んでしまい、ミスを毎回やらかしてしまいます。 ここは、もう一度初心に帰り勉強いたしますので、皆様 これから2年間お付き合いのほどよろしく願いいたします。 谷口 彰(GIS 総合研究所 & 応用技術株式会社) | 地理情報システム学会ニューズレター 第 106 号 ●発行日 2018 年 6 月 25 日 ■ 発行 一般社団法人 地理情報システム学会 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階 TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org URL: http://www.gisa-japan.org/ |
| ■ 弥生雑記 ■ 地域の子供会にかかわることになった。つつい自分の子供時代と引き比べ、現代の子供が置かれている状況に隔世の感を禁じ得ない…どころか、呆然とする日々が続いている。 例えば児童は集団登下校をしている。下校時は学校から保護者と自治会に「いま校門を出ました」と一斉メールが配信され、それを見て当番が通学路の見守り体制に入る。しかし共働き世帯が多い昨今、当番は若い保護者よりも地域のお年寄りに頼る部分が大きく、結果として「天候の悪い日の見守りは不要です」。荒天時に当番に出たお年寄りが転倒して骨折したことがあったためだという。同様に、交通量の多い場所での見守りも、お年寄りが「危険なので」子供会から辞退が出る。そんなことで子供の見守りになるのか、意味はあるのか、と疑問をいくつも抱えながら会合の行方を眺めていたが、それは恐らく私の心得違い。この地域の“見守り”目的は、子供の安全という以上に、声かけによって地域と児童をつなぐ要素の方が強いようだ。 子供たちは自衛する。安全意識を培うべく手は尽くされており、“見守り”はプラスアルファ。道草を堪能していた身としては何ともムズムズするが、それは自分がのんびりした時代の申し子だった、という感傷に他ならないのだ。 (学会事務局) | |